

# 日本漢方協会通信 —① 2023年5月

古代中国のスーパースター

会員 川合一正

「桂枝湯は『傷寒論』中の第一方であり、この処方は商代(BC1700~1100)の大  
臣である伊尹(伊摯)が発明したと伝えられている。伊尹は腕のたつ調理人で、彼  
は華夏(最初の王朝)の民族が本草を用いて疾病の治療に当たった時の経験を統  
括し、また調理技術を利用して数多くの湯液を創製したと言われている。桂枝湯  
は、当時の香辛料と調味料を用いたものである。」

以上は南京中医药大学の黄煌教授の著書『KAMPO 十大類聚』の中で紹介されてい  
る。

ここに登場する伊尹はもともと夏(殷の前の王朝)において「包人」と称される  
一介の調理人であった。伊尹が長らく料理人としての経験から生姜や桂枝など  
の薬能を熟知するに至り、その知識を薬食同源の観点から疾病治療に応用し、湯  
液を創ったのであろうと伝えられている。

時代を下って 2500 年前の春秋戦国時代(BC770-476)に書かれた戦術論のバイ  
ブルとして現在に伝わっている『孫子』の第十三用間篇(スパイの応用弦)にも伊  
摯(伊尹)は登場している。ここでは料理人として夏の情報を収集する間者とし  
て活躍している。殷の湯王を助けて夏の桀王を討つなどの功績によってその後  
殷の大臣に任じられている。

同じ人物が人民を疾病から守る湯液の開発者として伝えられたり、間者(スパ  
イ)として国家建設の功労者として讃えられたりしているのである。

このようなストーリーで古代中国人の知恵が現在にまで伝えられたというア  
イデアには脱帽で、そこでの主役は「伊尹」であった。

# 日本漢方協会通信 —②— 2023年5月

耳鳴り治るかな!?

金子達先生の「耳鼻咽喉科の漢方治療」を受講して

会員 田中美穂

半年ほど前から耳鳴りが気になる。もっと以前から症状はあったのだが、この頃ひどくなった。耳鼻科は受診していない。せっかく漢方を勉強しているのだから何とか自分で、漢方薬で治したい。金子先生のご講義でヒントを見つけたいと思った。

金子先生のご講義は、めまい、耳鳴り、難聴、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、咳嗽、逆流性食道炎、感染症と、広範囲にわたる内容だった。耳鼻科領域の病態は気と水が関わり、特に水の関わりが大きく、更に血が絡むことがあるとのことだった。

めまいの治療は半夏白朮天麻湯を中心として、水毒、腎虚、瘀血、精神不安など症状によって薬方をプラスするのが良い。半夏白朮天麻湯は甘草を含まないため他の薬方と併用がしやすく使いやすいとのこと。甘草については、二眼目に飛奈先生が詳しく解説された。その中で、副作用の偽アルドステロン症の発現は個人差が大きいことに触れ、ある酵素の個人差に関わりがあるのではないかと研究が進められているとのことがあった。大変興味深い。

耳鳴りと難聴は併発している人が多いとのこと。耳鳴りも難聴も低音領域は水毒に加えてストレスなどの肝との関わりが大きい。これに対して、高音域は腎虚、循環障害、高血圧の関わりが大きい。したがって若年者の耳鳴り、難聴は低音が多く、高齢者は高音が多いとのことだった。私は低音が腎、高音が肝に関わると思っていたので、大きな間違いだった。薬方は耳鳴りと難聴で共通しているところが多く、低音には水毒を改善する五苓散、ストレスや炎症があれば柴苓湯、全周波数であれば苓桂朮甘湯、高音であれば八味丸、牛車腎気丸などを考える。また、ほかの症状を考慮し、嘔気・嘔吐・頭痛があれば半夏白朮天麻湯、血圧変動・頭重感・頭痛には釣藤散、生理不順・更年期障害には当帰芍薬散や加味逍遙散、不眠・不安・精神症状には抑肝散、加味帰脾湯、柴胡加竜骨牡蛎湯などが良いとのことだった。

アレルギー性鼻炎は、0歳から90歳まで全ての世代で増加しているとのこと。私も花粉症に悩まされているが、今年は地元静岡市丸子（まりこ）産「べにふうき」緑茶を毎日まじめに飲んでいるためとても症状が軽い。「べにふうき」緑茶に含まれるメチル化カテキンが、アレルギー症状におけるマスト細胞の活性化を抑えヒスタミン分泌を抑制する。更に生姜汁を加えると効果が上がるという報告がある。（山本万里 茶葉中メチル化カテキンの抗アレルギー作用 生物物理化 2009;53:37）

金子先生のお話では、花粉症と食物アレルギーとの関連が分かってきており、スギ花粉症の人はトマト、シラカバのアレルギーはリンゴ・モモなどのバラ科の果物、イネ科のアレルギーはトマトのほかスイカ・メロンなどのナス科の果物、ヨモギ・ブタクサのアレルギーはスイカ・メロン・セロリ・香辛料などのアレルギーが多いとのことだった。とても面白いと思った。

さて、私の耳鳴りは、主に高めの「シー」という音。時々「ワンワンワン」と低い音もする。朝目覚めたときから鳴っているが、夜の方が酷い。お風呂上がりは軽減している。不眠は無い。天気が悪いと頭痛がする。肩こりあり。脈は沈遅かな。舌はやや暗紅色、薄白苔、歯痕と裂紋あり、舌先が赤い。これらのことから、水毒があり、気鬱・気虚もありそう。高音が主だから腎虚。冷えあり。舌の状態から心熱がありそう。年齢的に更年期障害かも。でも加味逍遙散はあまり効果がなかった。よし！高音を目標に八味地黄丸を試してみよう。